

## 第7回 戸塚区品濃町最終処分場検証委員会会議録

日時 平成18年10月26日(木) 午前9時30分から午前11時00分まで

開催場所 横浜情報文化センター 7階 大会議室

出席者 (委員)

小賀野委員長、高井委員、田中委員、徳江委員

(横浜市)

資源循環局長、副局長、適正処理部長、産業廃棄物対策担当部長、産業廃棄物対策課長、  
適正処理監視指導担当課長 他事務局11名 計17名

開催形態 公開 (傍聴者 4人)

決定事項 検証結果報告書について、引き続き検討する。

議事 検証結果報告書について

(主な意見等)

<2章>

- ・現場の写真や地図があるが、図面もあったほうがよい。
- ・苦情の状況は、資料編に入れたほうがよい。

<3章>

- ・イからエの見出しを工夫すること。
- ・Ⅱ期(2)エ(市の方針・対応)に、中小企業診断士に依頼したことや施設の具備について国に照会したことが書かれているが、これは現時点での判断である。他の期の市の方針・対応では、当時の判断について書かれていることを考えると、4章の評価に入れる内容である。

<4章>

- ・排出者責任、原因者負担などの原則を記述すること。
- ・3(全期間を通じての評価)と4(総合的评价)の内容が重なっている。
- ・総合的评价では、時系列での評価だけではなく、全体を通じた問題点を明らかにするべきである。
- ・3(全期間を通じての評価)の最後で事業者の指導や厳正な処分の必要性を述べているが、行政は事業者を指導、是正するという役割があり、この点で取締りを目的とする警察とは違う。法令に基づく権限を硬軟取り混ぜて行使し、処分場の確保や健全な事業者育成へと誘導する一方、環境保全のために厳格な処分を行うということを述べる必要がある。

<5章>

- ・様々な提言が書かれているが、整理し、体系化すべきである。

<その他>

- ・報告書は市民など第三者が読んで分かりやすいものにすべき。
- ・資料編がなくても本編だけで概要が分かるようにしたい。
- ・委員会資料の法令の変遷は資料編に入れる。
- ・第2回検証委員会資料の「埋立状況と経緯」はとても分かりやすいので、本編に入れてほしい。
- ・市会での市の答弁と本委員会での調査内容との整合性を確認したい。

報告事項 1 第6回検証委員会会議録について

- 資料
- 1 戸塚区品濃町最終処分場に係る検証結果報告書（案）
  - 2 市会での議論の状況
  - 3 第6回検証委員会会議録
  - 4 秋田県能代産業廃棄物処理センター視察報告